

メインデータとショップ別データ [SKU移行完了後]

の動画マニュアルをご覧ください誠にありがとうございます！

こちらの流れでご案内いたします。

- 1) メインデータとショップ別データの違いと使い方の基本
(SKU移行前・移行後共通)
- 2) RMSでSKU移行した後の商品の構成
- 3) item RobotでSKU移行完了後の商品の構成
- 4) item Robotの各項目の場所

メインデータとショップ別データ [SKU移行完了後]

- 1) メインデータとショップ別データの違いと使い方の基本
(SKU移行前・移行後共通)
- 2) RMSでSKU移行した後の商品の構成
- 3) item RobotでSKU移行完了後の商品の構成
- 4) item Robotの各項目の場所

1) メインデータとショップ別データの違いと使い方の基本

(SKU移行前・移行後共通)

これからメインデータとショップ別データの違いと使い方についてご案内します。

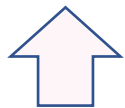
これはitem Robotの最大の特徴で、基本中の基本となる考え方です。
ぜひ、マスターして業務効率化にお役立てください。

メインデータ

ショップ別データ

楽天

Yahoo!



メインデータとはどのショップでも共通となる商品項目です。

メインデータ

【共通の項目】

商品コード

商品名

販売価格

カテゴリ

キャッチコピー

説明文

ショップ別データ

楽天

Yahoo!

例えば、商品名、販売価格などの
どのショップでも使われるような
項目です。

メインデータ

ショップ別データ

楽天

Yahoo!

【共通の項目】

商品コード
商品名
販売価格
カテゴリ
キャッチコピー
説明文

【共通の項目】

商品コード
商品名
販売価格
カテゴリ
キャッチコピー
説明文

【共通の項目】

商品コード
商品名
販売価格
カテゴリ
キャッチコピー
説明文



一方、ショップ別データとはその共通の項目と

メインデータ

ショップ別データ

楽天

Yahoo!

【共通の項目】

商品コード
商品名
販売価格
カテゴリ
キャッチコピー
説明文

【共通の項目】

商品コード
商品名
販売価格
カテゴリ
キャッチコピー
説明文

【共通の項目】

商品コード
商品名
販売価格
カテゴリ
キャッチコピー
説明文

そのショップ独自の
項目を合わせたもの

【楽天 独自項目】

納期管理番号
送料区分

【Yahoo! 独自項目】

配送グループ管理番号
販促コード

そして、item Robotは『アップロード』
つまりショップへの商品登録や更新を行う時、
各ショップに送る商品データをこのようなルールで作成します。

[優先] ショップ別データ > メインデータ

ショップ別データに何か商品情報が登録されている時には、その該当の項目のみショップ別データにある商品情報を使います。

ショップ別データに何も登録されていない時にはメインデータの商品情報を使います。

メインデータ

ショップ別データ

楽天

Yahoo!

【共通の項目】

商品コード
商品名
販売価格
カテゴリ
キャッチコピー
説明文

【共通の項目】

商品コード
商品名
販売価格
カテゴリ
キャッチコピー
説明文

【共通の項目】

商品コード
商品名
販売価格
カテゴリ
キャッチコピー
説明文

↑ ↑

ショップ別データの共通項目の一部だけが商品情報が登録されている場合

メインデータ

【共通の項目】

商品コード

商品名

販売価格

カテゴリ

キャッチコピー

説明文



ショップ別データに
無いものが使われる

ショップ別データ

楽天

【共通の項目】

商品コード

商品名

販売価格

カテゴリ

キャッチコピー

説明文



ショップ別データが
絶対優先

楽天にアップロードの際
ショップ別データに
キャッチコピーだけが
登録されていたら
共通の項目はこのように
商品情報データ
が作られます。

メインデータ

【共通の項目】

商品コード

商品名

販売価格

カテゴリ

キャッチコピー

説明文



ショップ別データに
無いものが使われる

ショップ別データ

Yahoo!など
他のショップでも
同様に
商品情報データ
が作られます。

Yahoo!

【共通の項目】

商品コード

商品名

販売価格

カテゴリ

キャッチコピー

説明文



ショップ別データが
絶対優先

つまり、ショップ別データにショップに反映させたい商品情報を
全て登録する必要はなく、

基本的にはメインデータに商品情報を登録しておいて、

ショップ毎に違いを出したい項目のみ

ショップ別データに商品情報を登録すればよいということです。

このルールをうまく利用することで、ショップ毎の特徴をカンタン
に出すことが可能です。

メインデータ

ショップ別データ

楽天

【共通の項目】

商品コード
商品名
販売価格
カテゴリ
キャッチコピー
説明文

【共通の項目】

商品コード
商品名
販売価格
カテゴリ
キャッチコピー
説明文

楽天の共通項目
がベース

メインデータは
楽天の項目がベースと
なっているので、
楽天のデータを
item Robotにインポート
するだけで、item Robot
で商品情報の土台が出来
上がります。

メインデータ

メインデータ

ショップ別データ

各ショップの共通項目（メインデータ）を編集してください。

商品コード（楽天URL）	test-item
楽天商品番号	test-item

キャッチコピー： **おしゃれ**
商品名： **めがね**
販売価格： **10,000円**

ショップ別データ

メインデータ

ショップ別データ



楽天

キャッチコピー： **送料無料！**
商品名：（空白）
販売価格：（空白）

Yahoo

キャッチコピー：（空白）
商品名： **素敵なめがね**
販売価格： **8,000円**

具体例をお見せします。

メインデータ

メインデータショップ別データ

各ショップの共通項目（メインデータ）を編集してください。

商品コード（楽天URL）	test-item
楽天商品番号	test-item

キャッチコピー：おしゃれ

商品名：めがね

販売価格：10,000円

ショップ別データ

メインデータショップ別データ

楽天店舗

Yahoo!店舗

Amazon店舗

auPAY店舗

MakeShop店舗

ポンパレ店舗

Eストア店舗

SHOPLIST店舗

futureshop店舗

A-ホーム店舗

楽天

キャッチコピー：送料無料！

商品名：（空白）

販売価格：（空白）

Yahoo

キャッチコピー：（空白）

商品名：素敵なめがね

販売価格：8,000円

このようにメインデータにはキャッチコピーにおしゃれ、商品名にめがね、販売価格一万円で登録されていて、

メインデータ

メインデータ

ショップ別データ

各ショップの共通項目（メインデータ）を編集してください。

商品コード（楽天URL）	test-item
楽天商品番号	test-item

キャッチコピー：おしゃれ
商品名：めがね
販売価格：10,000円

ショップ別データ

メインデータ

ショップ別データ



楽天

キャッチコピー：送料無料！
商品名：（空白）
販売価格：（空白）

Yahoo

キャッチコピー：（空白）
商品名：素敵めがね
販売価格：8,000円

ショップ別データの楽天には、キャッチコピーにだけ送料無料

メインデータ

メインデータ

ショップ別データ

各ショップの共通項目（メインデータ）を編集してください。

商品コード（楽天URL）	test-item
楽天商品番号	test-item

キャッチコピー：おしゃれ
商品名：めがね
販売価格：10,000円

ショップ別データ

メインデータ

ショップ別データ

楽天店舗

Yahoo!店舗

Amazon店舗

auPAY店舗

MakeShop店舗

ポンパレ店舗

エストア店舗

SHOPLIST店舗

futureshop店舗

楽天

Yahoo

キャッチコピー：送料無料！
商品名：（空白）
販売価格：（空白）

キャッチコピー：（空白）
商品名：素敵なめがね
販売価格：8,000円

Yahoo!には商品名・素敵なめがね、販売価格：8000円と登録されていた場合

メインデータ

メインデータ

ショップ別データ

各ショップの共通項目（メインデータ）を編集してください。

商品コード（楽天URL）	test-item
楽天商品番号	test-item

キャッチコピー：おしゃれ
商品名：めがね
販売価格：10,000円

ショップ別データ

メインデータ

ショップ別データ



楽天

キャッチコピー：送料無料！
商品名：（空白）
販売価格：（空白）

Yahoo

キャッチコピー：（空白）
商品名：素敵めがね
販売価格：8,000円

楽天アップロード時

楽天 実際の登録データ

キャッチコピー：送料無料！
商品名：めがね
販売価格：10,000円

Yahoo 実際の登録データ

キャッチコピー：おしゃれ
商品名：素敵めがね
販売価格：8,000円



メインデータ

メインデータ

ショップ別データ

各ショップの共通項目（メインデータ）を編集してください。

商品コード（楽天URL）	test-item
楽天商品番号	test-item

キャッチコピー：おしゃれ
商品名：めがね
販売価格：10,000円

ショップ別データ

メインデータ

ショップ別データ



楽天

キャッチコピー：送料無料！
商品名：（空白）
販売価格：（空白）

Yahoo

キャッチコピー：（空白）
商品名：素敵めがね
販売価格：8,000円

Yahoo!アップロード時

楽天 実際の登録データ

キャッチコピー：送料無料！
商品名：めがね
販売価格：10,000円

Yahoo 実際の登録データ

キャッチコピー：おしゃれ
商品名：素敵めがね
販売価格：8,000円



メインデータ

メインデータ

ショップ別データ

ショップ別データ

メインデータ

ショップ別データ

【注意！】よくある間違い 差分の『素敵』だけ登録していると

キャッチコピー：おしゃれ
商品名：めがね
販売価格：10,000円

楽天

キャッチコピー：送料無料！
商品名：（空白）
販売価格：（空白）

Yahoo

キャッチコピー：（空白）
商品名：素敵
販売価格：8,000円



Yahoo!アップロード時

楽天 実際の登録データ

キャッチコピー：送料無料！
商品名：めがね
販売価格：10,000円

Yahoo 実際の登録データ

キャッチコピー：おしゃれ
商品名：素敵
販売価格：8,000円



メインデータ

メインデータ

ショップ別データ

ショップ別データ

メインデータ

ショップ別データ

【注意！】よくある間違い 差分の『素敵』だけ登録していると

キャッチコピー：おしゃれ
商品名：めがね
販売価格：10,000円

楽天

キャッチコピー：送料無料！
商品名：（空白）
販売価格：（空白）

Yahoo

キャッチコピー：（空白）
商品名：素敵
販売価格：8,000円

Yahoo!アップロード時

素敵

だけが商品情報として
アップロードされてします

Yahoo 実際の登録データ

キャッチコピー：おしゃれ
商品名：素敵
販売価格：8,000円

メインデータ

メインデータ

ショップ別データ

ショップ別データ

メインデータ

ショップ別データ

アップロードしたい全文『素敵なめがね』と登録がすることが必要です

キャッチコピー：おしゃれ
商品名：めがね
販売価格：10,000円

楽天

キャッチコピー：送料無料！
商品名：（空白）
販売価格：（空白）

Yahoo

キャッチコピー：（空白）
商品名：素敵なめがね
販売価格：8,000円

Yahoo!アップロード時

楽天 実際の登録データ

キャッチコピー：送料無料！
商品名：めがね
販売価格：10,000円

Yahoo 実際の登録データ

キャッチコピー：おしゃれ
商品名：素敵なめがね
販売価格：8,000円



このように、item Robotでは

ショップ別データの方に全てのデータを登録しないで、

違いを出したい項目だけ商品情報を入れることで、

多店舗を運用していても、

商品情報のメンテナンスがカンタンにできる作りになっています。

メインデータとショップ別データ [SKU移行完了後]

- 1) メインデータとショップ別データの違いと使い方の基本
(SKU移行前・移行後共通)

2) RMSでSKU移行した後の商品の構成

3) item RobotでSKU移行完了後の商品の構成

4) item Robotの各項目の場所

2) RMSでSKU移行した後の商品の構成

楽天ではいままで
商品単位で
『販売価格』など設定し
SKU単位で設定変更は
できませんでした。

Tシャツ



1000円



全部1000円

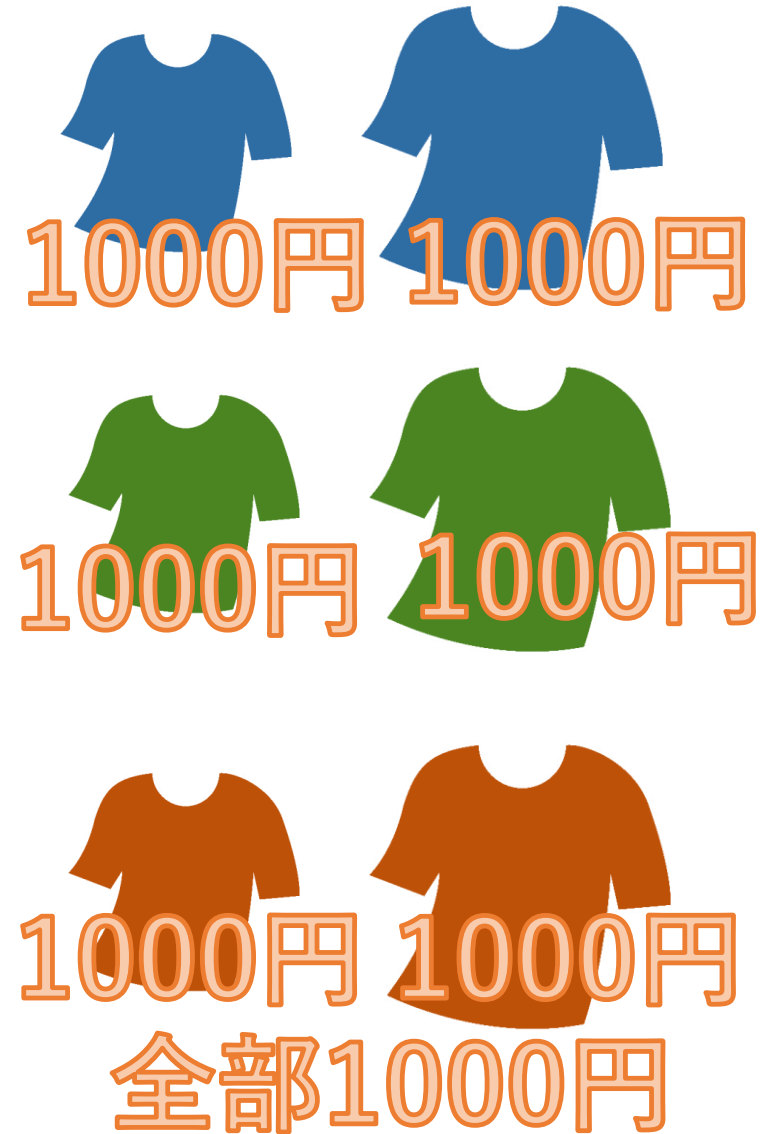
2) RMSでSKU移行した後の商品の構成

SKU移行後は
SKU単位で設定する項目が増えて
SKU単位で違いを出すことが
できるようになりました。



2) RMSでSKU移行した後の商品の構成

逆にいままでのように
商品単位で同一にしたい場合でも
楽天上はSKU単位で設定するよう
になります。



2) RMSでSKU移行した後の商品の構成

なお、各項目が商品レベルかSKUレベルかは

RMSの[商品ページ設定 商品一括編集] 商品登録用CSVファイル

(ファイル名：normal-item.csv) のデータ形式 SKU対応版

で確認可能です。

※URLが頻繁に変更することがあるため、検索でお探してください

2) RMSでSKU移行した後の商品の構成

商品レベルの項目はNo.が1-から始まります

商品レベル

No	項目名	登録	更新	入力例	形式	HTML	Byte	説明
1-1	商品管理番号（商品URL）	存在必須	存在必須	jan-316003 0351019	半角文字列	×	32	空欄不可 1文字での登録は不可 ほかの商品と重複不可 利用できる文字列：0-9、a-

SKUレベルの項目はNo.が3-から始まります

SKUレベル

No	項目名	登録	更新	入力例	形式	HTML	Byte	説明
3-1	SKU管理番号	存在必須	項目省略可能 ※SKUレベル行の更新	sku-316003	半角文字列	×	32	空欄不可 同一商品内の他のSKUと重複不可 利用できる文字列：0-9、A~

2) RMSでSKU移行した後の商品の構成

もしくは、item Robotのマニュアル内

楽天mormal-item.csvインポート項目表

https://www.hunglead.com/item-robot-manual/04/pdf/normal-item-import_main.pdf で

4列目CSV:商品レベル に○がついていれば商品レベルの項目

5列目CSV:SKUレベル に○がついていればSKUレベルの項目

と確認することも可能です。

メインデータとショップ別データ SKU移行完了後編

- 1) メインデータとショップ別データの違いと使い方の基本
(SKU移行前・移行後共通)
- 2) RMSでSKU移行した後の商品の構成
- 3) item RobotでSKU移行完了後の商品の構成
- 4) item Robotの各項目の場所

3) item RobotでSKU移行完了後の商品の構成

item Robotでも楽天のSKU移行に対応するために、
SKU単位での登録が細かくできるように

『選択肢情報のメインデータ』 『選択肢情報のショップ別データ』
という概念のもと、SKU単位で登録できる項目を増やしました。

(2023年9月現在楽天のみ対応、順次ショップ拡大予定)

※選択肢情報のメインデータという概念は現在楽天にのみあります。

こちらも順次対応予定です

3) item RobotでSKU移行完了後の商品の構成

そして、最初にお話ししたメインデータとショップ別データでは商品情報が登録されている時に利用する優先順位がありましたが、SKU単位のデータも含めると次の優先関係で商品情報を作ります。

【優先度高】 選択肢情報のショップ別データ



選択肢情報のメインデータ



ショップ別データ



【優先度低】

メインデータ

3) item RobotでSKU移行完了後の商品の構成

具体例でご案内します。

商品単位で同一にしたい場合

item Robotでは

『メインデータ』の

販売価格1か所に1000と登録して

他のデータに販売価格を登録しなければ

その商品の全SKUが1000円として

全ショップにアップロードされます。



3) item RobotでSKU移行完了後の商品の構成

ショップ単位で同一にしたい場合



item Robotでは『ショップ別データ』の
販売価格1か所に900と登録して

他のデータに販売価格を登録しなければ
その商品の全SKUが900円として

その登録したショップにアップロードされます。

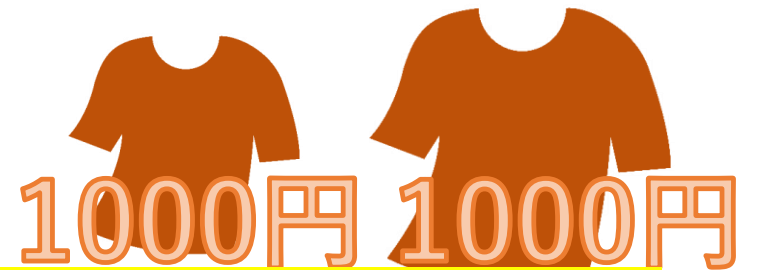


3) item RobotでSKU移行完了後の商品の構成

ショップ単位で同一にしたい場合



なお、メインデータが1000円のままでしたら
他のショップはAショップに影響を受けず
1000円で全SKUアップロードされます。
以降、他の箇所でも同様です。



他のショップは
全SKU1000円のまま

3) item RobotでSKU移行完了後の商品の構成

SKU単位で一部変更したい場合 1

item Robotでは

『選択肢のメインデータ』の

該当SKUの販売価格1か所に

1200と登録して他のデータに

販売価格を登録しなければ

そのSKUだけ1200円

他のSKUは1000円としてアップロードされます。



3) item RobotでSKU移行完了後の商品の構成

SKU単位で一部変更したい場合 2

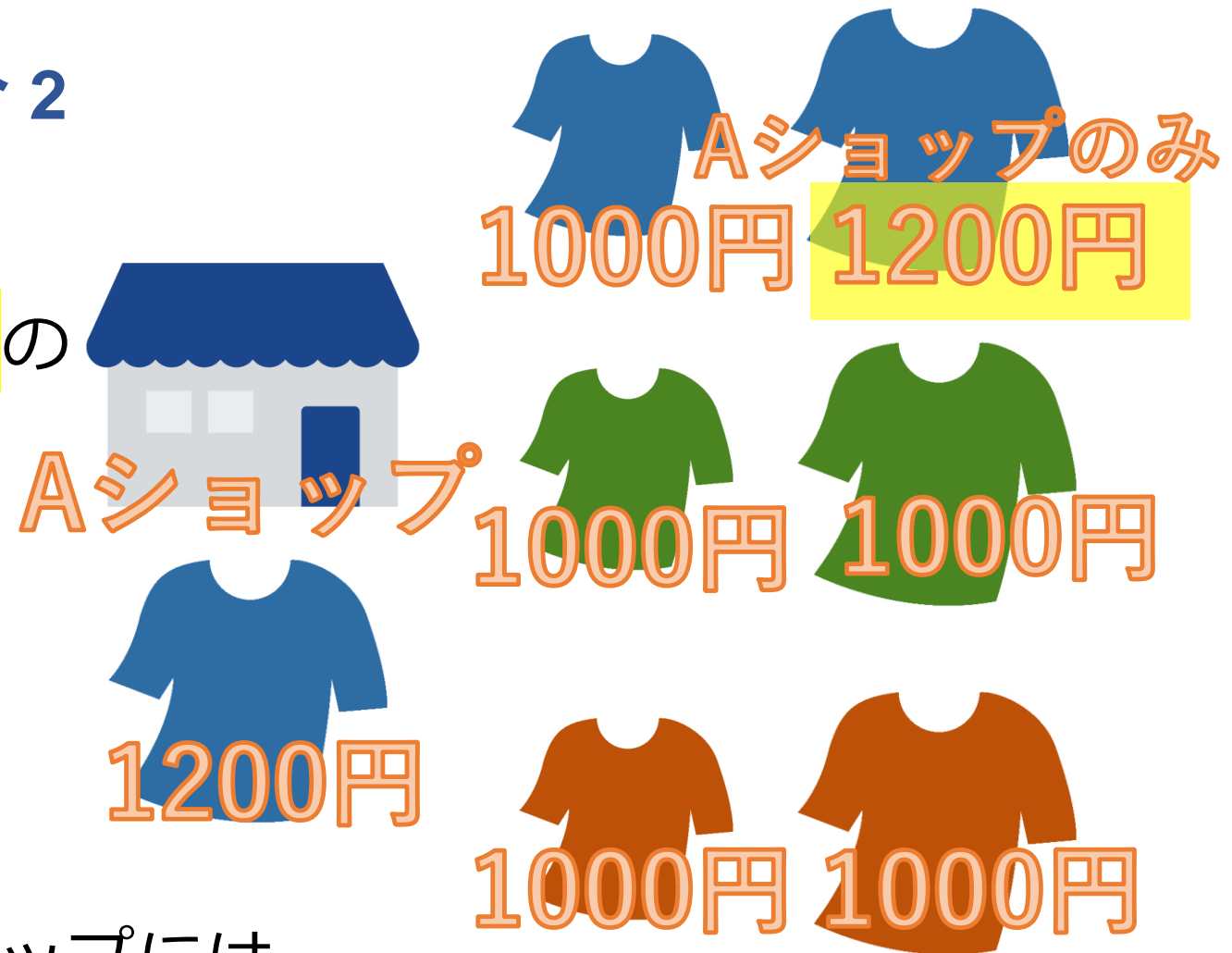
item Robotでは

『選択肢のショップ別データ』の

該当SKUの販売価格1か所に
1200と登録して他のデータに
販売価格を登録しなければ
そのSKUだけ1200円

他のSKUは1000円としてAショップには

アップロードされます。他のショップには影響しません



いままでご案内したitem Robotの特性を生かし

SKUで差をつけない場合は

メインデータ、ショップ別データを利用して、

SKU側の項目はできるだけ空にしておく。

SKUで差をつけるときだけSKU側の項目を登録することで

SKUの複雑なデータを取り扱いながらも、

商品情報のメンテナンスがカンタンにできる作りになっています。

また、SKU移行後の楽天ではジャンルIDに紐づく『商品属性』を設定することが特徴になっています。

商品属性は検索条件となっておりますので必須でなくても登録しておいた方がよい項目です。(また移行後120日後に必須化します)

項目が多くて設定が大変な商品属性の登録でも、

商品全体で同じ属性（ブランドや生産国など）はメインデータやショップ別データに1か所だけ登録して、

SKU異なる属性（カラーやサイズなど）のみSKUで登録することで効率化していきましょう。

メインデータとショップ別データ SKU移行完了後編

- 1) メインデータとショップ別データの違いと使い方の基本
(SKU移行前・移行後共通)
- 2) RMSでSKU移行した後の商品の構成
- 3) item RobotでSKU移行完了後の商品の構成
- 4) item Robotの各項目の場所

4) item Robotの各項目の場所 【メインデータ】

商品一覧

商品検索

メインデータの検索

ショップ別データの検索

商品コード (楽天URL)

楽天商品番号

カテゴリ

花

商品名

キーワード

楽天全商品ディレクトリID

楽天タグID

販売価格

円～ 円

消費税率

軽減税率

在庫設定

販売中 在庫

在庫タイプ

無制限 選択放棄し 選択放棄有

在庫数

～

オプション

あり なし

楽天スーパーSALE

スーパーSALE商品 (コピーページ) スーパーSALE商品 (コピーページでない) コピー元 その他

付箋

含む 含む 含む

zaiko Robot

登録済み 未登録

登録日

更新日

ショップ、ショップタイプ別検索項目

ショップ

選択してください。

ショップタイプ

選択してください。

検索方式: AND検索

アップロード設定

アップロードする アップロードしない

アップロード状況













完了 新規 更新


検索結果表示件数: 30件 件

クリア 検索する

- 1 item Robotメニュー
商品一覧・検索をクリック
- 2 検索結果表示件数を
任意の件数に設定して
- 3 検索するボタンをクリック

4) item Robotの各項目の場所 【メインデータ】

<input type="checkbox"/>	商品コード (楽天URL)	商品名	店舗			編集	コピー	選択肢	オプション
			1	2	3				
<input type="checkbox"/>	itemrobotsingle	Robotシリーズ『item Robot』 RMS-SS商品管理系No1、利用ユーザー数No1	N	N	N				未設定 
<input type="checkbox"/>	itemrobotmulti	[右向き左向き登場！]Robotシリーズ『item Robot』 RMS-SS商品管理系No1、利用ユーザー数No1	N	N	N			○	未設定 
<input type="checkbox"/>	demo0001	デモ商品0001	U	N	N				未設定 
<input type="checkbox"/>	demo0002	デモ商品0002	U	N	N				未設定 

検索結果の商品一覧から編集したい商品の編集アイコン  をクリック

4) item Robotの各項目の場所

【メインデータ】

Robot シリーズ

Robot シリーズ
item Robot

▼ 商品管理

商品一覧・編集

新規登録

CSVインポート

CSVダウンロード

マスタ管理

アップロード予定フォルダ

▼ 履歴管理

▼ カテゴリ管理

▼ 画像管理

商品編集

メインデータ

ショップ別データ

各ショップの共通項目（メインデータ）を編集してください。

商品コード（楽天URL） 必須	itemrobotsingle
楽天商品番号	<input type="text" value="itemrobotsingle"/>
新品・中古	<input checked="" type="radio"/> 新品 <input type="radio"/> 中古
	<input type="text" value="選択してください。"/>
	<input type="text" value="選択してください。"/>

移動した商品編集画面の
[メインデータ]タブ全てが
メインデータです。
この中で編集したい項目を
探します。

4) item Robotの各項目の場所

【メインデータ】

商品名 必須	Robotシリーズ『item Robot』RMS-SS商品管理系No1、利用ユーザー数No1	
	【バイト数・文字数】 65byte (楽天/上限255byte) 65byte (Yahoo/上限150byte)	
消費税	<input type="radio"/> 税別 <input checked="" type="radio"/> 税込 <input type="radio"/> 非課税	
消費税率	<input type="text"/> % <input type="checkbox"/> 軽減税率 ※ 未設定時は基本設定の税率(10%)が適応されます。 ※ 非課税の場合は、この項目は無視されます。	
販売価格 必須	<input type="text" value="1000"/> 円	
表示価格	<input type="text"/>	円 <input type="checkbox"/> オープン価格
送料 必須	<input type="radio"/> 送料別 <input checked="" type="radio"/> 送料込	
個別送料	<input type="text"/>	円
倉庫指定	<input checked="" type="radio"/> 販売中 <input type="radio"/> 倉庫	
JANコード	<input type="text"/>	カタログIDなしの理由 <input type="button" value="該当商品コードなし"/>
※楽天はJANコードをカタログIDとして登録します。カタログIDなしの理由は楽天のみの項目です		
商品属性 [クリックで閉じる]		

いままで例で挙げていた
販売価格は下にスクロール
したこちらにあります

4) item Robotの各項目の場所

【メインデータ】

JANコード カタログIDなしの理由 該当商品コードなし

※楽天はJANコードをカタログIDとして登録します。カタログIDなしの理由は楽天のみ

商品属性 [\[クリックで閉じる\]](#) SKUで異なる商品属性（カラーやサイズなど）に関してはSKU側で設定してください。

ブランド名： 必須	<input type="text" value="Hunglead"/>	<input type="button" value="推奨値検索"/>
メーカー型番： 必須	<input type="text" value="itemrobot"/>	
代表カラー： 必須	<input type="text" value="ピンク"/>	
カラー：	<input type="text"/>	
シリーズ名：	<input type="text" value="ロボットシリーズ"/>	<input type="button" value="推奨値検索"/>
発売年月日：	<input type="text"/>	
本体奥行：	<input type="text"/>	単位 <input type="text" value="mm"/> <input type="button" value="単位推奨値一覧"/>
本体横幅：	<input type="text"/>	単位 <input type="text" value="mm"/> <input type="button" value="単位推奨値一覧"/>
本体高さ：	<input type="text"/>	単位 <input type="text" value="mm"/> <input type="button" value="単位推奨値一覧"/>

商品属性はさらに下にスクロールしたこちらにあります。

※商品に登録されているジャンルIDに関連項目が表示されますので、商品属性が適切でない場合には登録のジャンルIDをご確認ください。

4) item Robotの各項目の場所

【ショップ別データ】



商品編集画面の
[ショップ別データ]タブ
からショップを選ぶと
ショップ別データ編集画面です。
この中で編集したい
項目を探します。

4) item Robotの各項目の場所

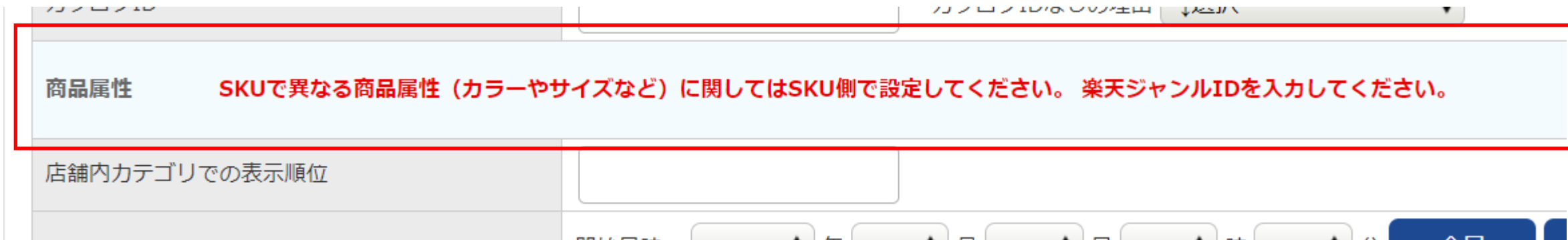
【ショップ別データ】

	選択してください。
楽天ジャンルID	<input type="text"/> リストから選択
非製品属性タグID	<input type="text"/> ※複数のタグIDは「/」(半角スラッシュ)で区切って入力してください。
商品名	<input type="text"/> 【バイト数・文字数】 0byte (楽天/上限255byte)
消費税	<input type="radio"/> 税別 <input type="radio"/> 税込 <input checked="" type="radio"/> ショップ別データでは設定しない
販売価格	<input type="text"/> 円
表示価格	<input type="text"/> 円 <input type="checkbox"/> オープン価格
二重価格文言	↓選択
PC用キャッチコピー	<input type="text"/> 【バイト数・文字数】

楽天ショップ別データの
販売価格も下にスクロール
してこちらにあります

4) item Robotの各項目の場所

【ショップ別データ】



商品属性 **SKUで異なる商品属性（カラーやサイズなど）に関してはSKU側で設定してください。楽天ジャンルIDを入力してください。**

店舗内カテゴリでの表示順位


楽天ショップ別データの商品属性もさらに下にスクロールしたところにあります。

メインデータにのみジャンルIDが設定されていてショップ別データにはジャンルIDが登録されていないと、画像のように商品属性の項目が表示されません。その場合にはショップ別データのジャンルIDにも適切なジャンルIDを設定ください。

4) item Robotの各項目の場所

【選択肢情報のメインデータ】

<input type="checkbox"/>	商品コード (楽天URL)	商品名	店舗			編集	コピー	選択肢	オプション
			1	2	3				
<input type="checkbox"/>	itemrobotsingle	Robotシリーズ『item Robot』 RMS-SS商品管理系No1、利用ユーザー数No1	N	N	N				未設定
<input type="checkbox"/>	itemrobotmulti	[右向き左向き登場！]Robotシリーズ『item Robot』 RMS-SS商品管理系No1、利用ユーザー数No1	N	N	N				未設定
<input type="checkbox"/>	demo0001	デモ商品0001	U	N	N				未設定
<input type="checkbox"/>	demo0002	デモ商品0002	U	N	N				未設定

商品管理で[検索する]をクリックした後の
検索結果の商品一覧から編集したい商品の
選択肢アイコン  をクリック

4) item Robotの各項目の場所

【選択肢情報のメインデータ】

選択肢情報の画面に移動しました。

選択肢情報ショップ別データの

最初の楽天店舗の

ショップ別の選択肢項目名・子番号設定

以外のボタンから

メインデータに移動できます。

Robotシリーズ

Robotシリーズ
item Robot

商品管理

商品一覧・編集

新規登録

CSVインポート

CSVダウンロード

マスタ管理

アップロード予定フォルダ

履歴管理

カテゴリ管理

画像管理

基本管理

狙い目キーワード

ここを見れば解決!?

item Robot
マニュアル

事前準備もこちらから! >>>

楽天SKU移行
マニュアル

楽天の商品を
Yahoo! JAPANに登録する方法

選択肢情報 - 在庫・編集

商品コード (楽天URL)	商品名
itemrobotmulti	[右向き左向き登場!]Robotシリーズ『itemrobotmulti』

選択肢情報 (メインデータ)

在庫数を入力して下さい。

すべての在庫数を一律で に設定する

選択肢1 (子番号)	選択肢2 (子番号)	在庫数
[+] ピンク		
[+] グレー		

選択肢情報 (ショップ別データ) [選択肢別一覧で確認する](#)

楽天店舗

ショップ別の選択肢項目名・子番号設定

選択肢1 (子番号)	選択肢2 (子番号)	SKU管理番号	システム連携用SKU番号
ピンク (-1)	左 (-1)	itemrobotmulti-pink-left	itemrobotmulti-pink-left
ピンク (-1)	右 (-2)	itemrobotmulti-pink-right	itemrobotmulti-pink-right

販売・価格

在庫・配送

製品情報

ページデザイン

全ての項目

4) item Robotの各項目の場所

【選択肢の情報のメインデータ】

の選択肢項目名・子番号設定

販売・価格

在庫・配送

製品情報

ページデザイン

全ての項目

これらのボタンは

一番右の[全ての項目]ボタンで移動すると全項目がある編集画面

4) item Robotの各項目の場所

【選択肢の情報のメインデータ】

の選択肢項目名・子番号設定

販売・価格

在庫・配送

製品情報

ページデザイン

全ての項目

それ以外のボタンではカテゴリーに属する項目がある編集画面に移動します。

4) item Robotの各項目の場所

【選択肢の情報のメインデータ】

の選択肢項目名・子番号設定

販売・価格

在庫・配送

製品情報

ページデザイン

全ての項目

どの編集画面で編集しても、

同一項目は後で編集した内容で更新されます。

4) item Robotの各項目の場所

【選択肢情報のメインデータ】

Robotシリーズ

Robotシリーズ
item Robot

▼ 商品管理

商品一覧・編集

新規登録

CSVインポート

CSVダウンロード

マスタ管理

アップロード予定フォルダ

履歴管理

カテゴリ管理

画像管理

基本管理

狙い目キーワード

ココを見れば解決!?

item Robot
マニュアル

事前準備もこちらから! ▶▶▶

選択肢情報編集 > 詳細項目の確認・編集

詳細項目の確認・編集

商品コード (楽天URL)	商品名
itemrobotmulti	[右向き左向き登場!]Robotシリーズ『item Robot』RMS-SS商品管理系No1、

メインデータ ショップ別データ

楽天店舗共通 詳細項目

すべての楽天店舗共通の設定です。
編集後は「編集内容を確認」ボタンから登録へ進んでください。

メインデータ sku / sku管理番号	倉庫指定	販売価格	表示価格
カラー: ピンク 左右: 左 itemrobotmulti-pink-left	<input type="radio"/> 販売中 <input type="radio"/> 倉庫 <input checked="" type="radio"/> 商品情報の設定を利用する	<input type="text"/> 円	<input type="text"/>
カラー: ピンク 左右: 右 itemrobotmulti-pink-right	<input type="radio"/> 販売中 <input type="radio"/> 倉庫 <input checked="" type="radio"/> 商品情報の設定を利用する	<input type="text"/> 円	<input type="text"/>
カラー: グレー	<input type="radio"/> 販売中	<input type="text"/>	<input type="text"/>

ボタンをクリックすると

選択肢情報編集の

『詳細項目の確認・編集』

画面に移動します。

メインデータタブが

選択されている時は

選択肢情報のメインデータです。

4) item Robotの各項目の場所

【選択肢情報のメインデータ】

Robot シリーズ

Robot シリーズ
item Robot

▼ 商品管理

商品一覧・編集

新規登録

CSVインポート

CSVダウンロード

マスタ管理

アップロード予定フォルダ

履歴管理

カテゴリ管理

画像管理

基本管理

狙い目キーワード

ココを見れば解決!?

item Robot
マニュアル

事前準備もこちらから! ▶▶▶

選択肢情報編集 > 詳細項目の確認・編集

詳細項目の確認・編集

商品コード (楽天URL)	商品名
itemrobotmulti	[右向き左向き登場!]Robotシリーズ『item Robot』RMS-SS商品管理系No1、利

メインデータ

ショップ別データ

楽天店舗共通 詳細項目

すべての楽天店舗共通の設定です。
編集後は「編集内容を確認」ボタンから登録へ進んでください。

メインデータ sku / sku管理番号	倉庫指定	販売価格	表示価格
カラー: ピンク 左右: 左 itemrobotmulti-pink-left	<input type="radio"/> 販売中 <input type="radio"/> 倉庫 <input checked="" type="radio"/> 商品情報の設定を利用する	<input type="text"/> 円	<input type="text"/>
カラー: ピンク 左右: 右 itemrobotmulti-pink-right	<input type="radio"/> 販売中 <input type="radio"/> 倉庫 <input checked="" type="radio"/> 商品情報の設定を利用する	<input type="text"/> 円	<input type="text"/> 円 <input type="checkbox"/> オープン価格 <input type="button" value="選択"/>
カラー: グレー	<input type="radio"/> 販売中		

選択肢情報のメインデータの

販売価格は

[販売・価格][全ての項目]ボタン

のいずれかでアクセスできる

編集画面のこちらにあります。

4) item Robotの各項目の場所

【選択肢情報のメインデータ】

メインデータ

ショップ別データ

楽天店舗共通 詳細項目

すべての楽天店舗共通の設定です。
編集後は「編集内容を確認」ボタンから登録へ進んでください。

ジャンルID 211741(パソコン・周辺機器 >> その他)

メインデータ sku / sku管理番号	カタログID	カタログIDなしの理由
カラー: ピンク 左右: 左 itemrobotmulti-pink-left	<input type="text"/>	商品情報の設定を利用する ▾
カラー: ピンク 左右: 右 itemrobotmulti-pink-right	<input type="text"/>	商品情報の設定を利用する ▾
カラー: グレー 左右: 左 itemrobotmulti-gray-left	<input type="text"/>	商品情報の設定を利用する ▾
カラー: グレー 左右: 右 itemrobotmulti-gray-right	<input type="text"/>	商品情報の設定を利用する ▾

選択肢情報のメインデータの
商品属性は
[製品情報][全ての項目]ボタン
のいずれかでアクセスできる
編集画面のこちらにあります。

ブランド名	メーカー型番
<input type="text"/> 推奨値検索	<input type="text"/>
<input type="text"/> 推奨値検索	<input type="text"/>
<input type="text"/> 推奨値検索	<input type="text"/>
<input type="text"/> 推奨値検索	<input type="text"/>

戻る

編集内容を確認

4) item Robotの各項目の場所 【選択肢情報のメインデータ】

Ubyte (Yahoo)

商品名 **必須** **メインデータ**

消費税 ☐ 税別 ☒ 税込 ☐ 非課税

消費税率 % ☐ 軽減税率
※ 未設定時は基本設定の税率(10%)が適応されます。
※ 非課税の場合は、この項目は無視されます。

販売価格 1000 円 **必須** **SKUごとに入力(楽天)**

表示価格 円 ☐ オープン価格 **SKUごとに入力(楽天)**

送料 ☐ 送料別 ☒ 送料込 **必須** **SKUごとに入力(楽天)**

個別送料 円 **SKUごとに入力(楽天)**

倉庫指定 ☒ 販売中 ☐ 倉庫 **SKUごとに入力(楽天)**

JANコード カタログIDなしの理由 **SKUごとに入力(楽天)**
※楽天はJANコードをカタログIDとして登録します。カタログ

商品属性 **【クリックで閉じる】** **SKUで異なる商品属性(カラーやサイズなど)に関してはSKU側で設定してく**

ブランド名 **必須** Hunklead **推奨値検索**

選択肢あり商品のメインデータ、
ショップ別データには
選択肢情報で設定できる項目には
選択肢情報のメインデータへのリ
ンクがあります。
販売価格はこちらです。

楽天ジャンルID **ショップ別データ**

非製品属性タグID **※複数のタグIDは「/」(半角スラッシュ)で区切って入力**

商品名 **【バイト数・文字数】**
0byte (楽天/上限255byte)

消費税 ☐ 税別 ☐ 税込 ☒ ショップ別データでは設定しない

販売価格 円 **必須** **SKUごとに入力**

表示価格 円 ☐ オープン価格 **SKUごとに入力**

二重価格文言 **SKUごとに入力** **選択**

4) item Robotの各項目の場所

【選択肢情報のメインデータ】

メインデータ

※楽天はJANコードをカタログIDとして登録します。カタログID

商品属性 [クリックで閉じる] SKUで異なる商品属性（カラーやサイズなど）に関してはSKU側で設定してください

[SKUごとに入力\(楽天\)](#)

ブランド名: 必須 推奨値検索

メーカー型番: 必須

代表カラー: 必須

カラー:

ショップ別データ

カタログID [SKUごとに入力](#) カタログIDなしの理由 [選択](#)

商品属性 [クリックで閉じる] SKUで異なる商品属性（カラーやサイズなど）に関してはSKU側で設定してください

[SKUごとに入力](#) [メインデータの商品属性をコピー](#)

ブランド名: 必須 推奨値検索

メーカー型番: 必須

代表カラー: 必須

商品属性は商品属性ブロックの各項目が並ぶ一番上にリンクがあります。

4) item Robotの各項目の場所

【選択肢情報のショップ別データ】

Robot シリーズ

Robot シリーズ
item Robot

▼ 商品管理

商品一覧・編集

新規登録

CSVインポート

CSVダウンロード

マスタ管理

アップロード予定フォルダ

▶ 履歴管理

▶ カテゴリ管理

▶ 画像管理

▶ 基本管理

▶ 狙い目キーワード

ココを見れば解決!?

item Robot
マニュアル

事前準備もこちらから! ▶▶▶

選択肢情報編集 > 詳細項目の確認・編集

詳細項目の確認・編集

商品コード (楽天URL)	商品名
itemrobotmulti	[右向き左向き登場!]Robotシリーズ『item Robot』

メインデータ **ショップ別データ**

楽天店舗 詳細項目

編集後は「編集内容を確認」ボタンから登録へ進んでください。

メインデータ sku / sku管理番号	ショップデータ sku / sku管理番号	倉庫指定	販
カラー: ピンク 左右: 左 itemrobotmulti-pink-left	カラー: 左右:	<input type="radio"/> 販売中 <input type="radio"/> 倉庫 <input checked="" type="radio"/> 商品情報の設定を利用する	
カラー: ピンク 左右: 右 itemrobotmulti-pink-right	カラー: 左右:	<input type="radio"/> 販売中 <input type="radio"/> 倉庫 <input checked="" type="radio"/> 商品情報の設定を利用する	
カラー: グレー		<input type="radio"/> 販売中	

選択肢項目の確認・編集で
ショップ別データタブを
クリックしますと
選択肢情報のショップ別データ
に移動します。
複数ショップがある場合には
縦に並びます。

4) item Robotの各項目の場所

【選択肢情報のショップ別データ】

選択肢情報のショップ別データ
の販売価格はこちらです

Robot シリーズ



▼ 商品管理

商品一覧・編集

新規登録

CSVインポート

CSVダウンロード

マスタ管理

アップロード予定フォルダ

▶ 履歴管理

▶ カテゴリ管理

▶ 画像管理

▶ 基本管理

▶ 狙い目キーワード

ココを見れば解決!?



item Robot
マニュアル

事前準備もこちらから! ▶▶▶

選択肢情報編集> 詳細項目の確認・編集

詳細項目の確認・編集

商品コード (楽天URL)	商品名
itemrobotmulti	[右向き左向き登場!]Robotシリーズ『item Robot』RMS-SS商品管理系No1、利用ユーザー数No1

メインデータ

ショップ別データ

楽天店舗 詳細項目

編集後は「編集内容を確認」ボタンから登録へ進んでください。

メインデータ sku / sku管理番号	ショップデータ sku / sku管理番号	倉庫指定	販売価格	表示価格
カラー: ピンク 左右: 左 itemrobotmulti-pink-left	カラー: 左右:	<input type="radio"/> 販売中 <input type="radio"/> 倉庫 <input checked="" type="radio"/> 商品情報の設定を利用する	<input type="text"/> 円	<input type="text"/> 円 <input type="checkbox"/> オ
カラー: ピンク 左右: 右 itemrobotmulti-pink-right	カラー: 左右:	<input type="radio"/> 販売中 <input type="radio"/> 倉庫 <input checked="" type="radio"/> 商品情報の設定を利用する	<input type="text"/> 円	<input type="text"/> 円 <input type="checkbox"/> オ
カラー: グレー		<input type="radio"/> 販売中		

4) item Robotの各項目の場所

【選択肢情報のショップ別データ】

選択肢情報のショップ別データの
商品属性はこちらです

メインデータ

ショップ別データ

詳細項目

編集後は「編集内容を確認」ボタンから登録へ進んでください。

ジャンルID

211741(パソコン・周辺機器 >> その他)

メインデータ sku / sku管理番号	ショップデータ sku / sku管理番号	コグIDなしの理由	ブランド名	メーカー型番	代表カラー
カラー: ピンク 左右: 左 itemrobotmulti-pin	カラー: 左右:	副情報の設定を利用する	<input type="text"/> 推奨値検索	<input type="text"/>	<input type="text"/>
カラー: ピンク 左右: 右 itemrobotmulti-pin	カラー: 左右:	副情報の設定を利用する	<input type="text"/> 推奨値検索	<input type="text"/>	<input type="text"/>
カラー: グレー 左右: 左 itemrobotmulti-gra	カラー: 左右:	副情報の設定を利用する	<input type="text"/> 推奨値検索	<input type="text"/>	<input type="text"/>
カラー: グレー 左右: 右 itemrobotmulti-gra	カラー: 左右:	副情報の設定を利用する	<input type="text"/> 推奨値検索	<input type="text"/>	<input type="text"/>

戻る

編集内容を確認